



NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構 会長  
井門 照雄

NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構(子チャレ)の活動も発足以来9年となりました。

この間、その時々が必要に応じ活動も広がりをもってきました。主催事業として「みんなでチャレンジ みんなのチャレンジ」(みなチャレ) 中核事業として「御五神島・無人島体験事業」「地域教育実践交流集会」「学びのコミュニティ研究会」協働事業として「高校生ヤングボランティア活動」があげられます。

「みなチャレ事業」も松山と八幡浜で定着してきました。松山では、「君の やってみたい!を やってみよう」を合言葉に、3つの中学から14人と大学生6人が集まり活動しました。八幡浜では、沖合にある大島での活動も3回目となりました。残念ながら、東予地方への拡がりをめざしながらまだ成果を見るに至っていません。皆様のご協力をお願いいたします。

「無人島体験事業」は、今年活動資金獲得のため日清食品グループの安藤スポーツ・食文化振興財団主催の「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」に応募し、一般の部の最優秀、安藤百福賞をいただきました。防波堤の傷みの激しい場所の修理に使いたいと思っています。これも多くの人によって受け継がれてきた努力のたまものだと思います。さらにより一層充実した活動になるよう、色々な方面の協力を得ながら、安心安全にも気を付け対応してゆきたいと思っています。

「地域教育実践交流集会」も7回目を迎えました。前回から始めた「インタビューダイアログ」は会場を巻き込んだ手法としてこの会の名物になりそうです。また、今回大学生の積極的な参加と発言を得、前向きで明るく、活動の未来を語る会合になり、今後のわれわれの活動に希望を抱かせることができました。

「学びのコミュニティ研究会」も今年は8回目からスタートし12回を数え、日本の現状や将来を学びながら、愛媛の子どものためにどのようなコミュニティを作るべきなのか、実践者に学びながら活動してきました。今後も実践に即して、活動をより深化させるために会合を開きたいと思っています。

「高校生ヤングボランティア活動」の松山福音公園整備事業も今年で5年目を迎えました。今年からアートパネルはデザイン、制作ともに松山南高校砥部分校の皆さんにお願いすることとなり、新しいネットワークでの取り組みとなりました。また次年度には高校生が互いの交流と実践を学び合い成長することを目指して、「高校生ボランティア活動交流事業」がスタートします。楽しみに見守ってください。

私たちの活動も多岐にわたってきましたが、子どもたちの成長を願い、私たちのやれることを地道にやるしかないと思っています。また参加した大人たちがより一層自分を高めることができ、参加して良かったと思えるよう、これからも活動を、積み重ねていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

終わりに、私たちの活動を理解し支持して下さった皆さんにお礼を申し上げますとともに、これからも御支援をお願い申し上げます。